IZUMI

マクセルイズミ株式会社

本　　社　〒399-8721　長野県松本市大字笹賀3039番地　☎0263(58)5757(代)　FAX 0263(86)1002
東京営業所　〒151-8527　東京都渋谷区元代々木町30-13　☎03(6891)2111(代)　FAX 03(6891)1700
大阪営業所　〒542-0081　大阪市中央区南船場2-1-10(CARP南船場第1ビル9階)　☎06(7663)0667(代)　FAX 06(7663)0668
名古屋営業所　〒465-0034　愛知県名古屋市名東区高柳町207番地　☎052(775)5388(代)　FAX 052(776)2163
福岡営業所　〒812-0008　福岡市博多区東光2丁目22-30　☎092(483)5700(代)　FAX 092(483)5704
仙台営業所　〒984-0032　宮城県仙台市若林区荒井一丁目21番地の8　☎022(287)1761(代)　FAX 022(287)1768

112550241-08

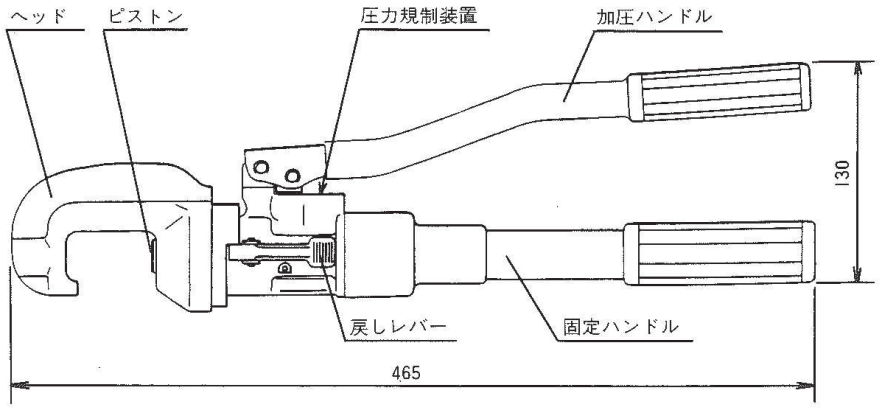
T形コネクタ用
手動油圧式工具　**15号B**

取扱説明書

マクセルイズミ株式会社

このたびは IZUMI の工具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全で確実な作業を行うために、この取扱説明書を十分お読み下さい。

1．各部の名称



2．工具の仕様

項　　目	諸　　元
適用電線コネクタの種類	T形コネクタ
適　用　範　囲	T-20～T-122(14mm²～122mm²)
公　称　出　力	59kN
作　動　油	シェルテラス S2 V15（T15）
オイルタンク容量	約85cm³
質　量	3 kg
標準付属ダイス	T-20　T-26　T-44　T-60 T-76　T-98　T-122

※15号のダイスも使用できます。

3．使用上の注意事項

この工具は、精密工具ですから使用方法を誤りますと故障、事故の原因になります。次の事項に十分注意して下さい。

(1) 工具は絶縁仕様ではありません。通電箇所に使用すると、感電の恐れがあります。
(2) T形コネクタと電線及びダイスの組合わせは、誤りのないようにして下さい。間違った組合わせは、接続不良及び工具の故障の原因となりますので注意して下さい。
(3) カラ押し操作はできるだけさけて下さい。
(4) 圧力規制装置は、出荷時に厳密に調整してありますので絶対に分解等しないで下さい。
(5) ヘッド部を回転させるときは、ピストンを下死点まで下げて下さい。
(6) ヘッド及びピストンのダイス取付部には、泥、ゴミ等が付着しないように注意して下さい。もし付着したときは、洗油で洗浄してきれいな布で拭きとって下さい。
(7) 作動油は指定のもの以外は使用しないで下さい。異種のものを混合しますと固ったり、分解することがあり、工具の作動に支障を起すことがあります。ブレーキオイルはパッキンを痛め、油もれを起しますので絶対に使用しないで下さい。
(8) 寒冷時（－5℃以下）の作業の場合は、作動油の粘度が高いため、ピストンの動きが悪くなることがありますので、工具を温めて（25℃前後の室温で約1時間放置する）から使用して下さい。
(9) この工具は、精密工具ですので、高所からの落下等、過度の衝撃を与えないで下さい。
(10) ヘッドを人のいる方向へ向けての使用はさけて下さい。
(11) 工具を使用しないときは、ピストンを下死点まで下げておいて下さい。
(12) 圧縮完了確認は「目安」として、圧力規制装置作動後、ダイスタッチ（ダイス同士が完全密着）していること、またはダイスタッチしていない場合は、ピストンロッド部に表示された圧縮完了ライン（黒線）が見えていることを確認して下さい。

4．使用方法

(1) 圧縮する本線と分岐線の断面積の合計により、適合ダイスを選定します。〔表1.2参照〕

例：本線が60㎟で分岐線が38㎟の場合は、断面積の合計が98㎟になりますからダイス及びT形コネクタはT-98を選定します。〔図1〕

(2) 戻しレバーを押してピストンを下死点まで下げます。

(3) ダイスをヘッドとピストンの取付穴に装着します。

ヘッド部は、180°回転しますので作業に適した位置にセットして下さい。〔図3〕

(4) ダイスの刻印と同表示のT形コネクタをダイス間に入れ軽く固定されるまで加圧ハンドルを操作します。

T形コネクタの圧縮位置は次のようにします。

- T-20～T-44の場合は、ダイスの中心がT形コネクタの中央になるように位置決めします。
- T-60～T-122の場合は、ダイスの歯形がT形コネクタの圧縮位置表示線に一致するように位置決めします。〔図2〕

(5) T形コネクタの開口部に本線及び分岐線を挿入します。

(6) 加圧ハンドルを開閉操作し、圧力規制装置が作動するまで圧縮を行います。

(7) 圧縮が終了しましたら戻しレバーを押しピストンを下死点まで下げます。

(8) 以上の操作を規定の回数行います。〔表1参照〕

図1　ダイスの表示

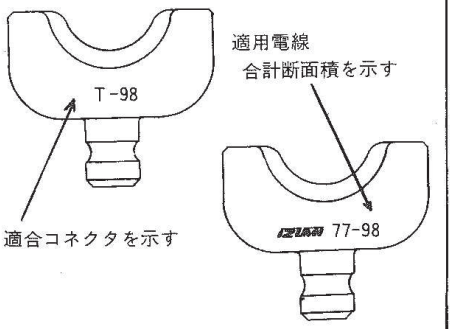


図2　T形コネクタの表示

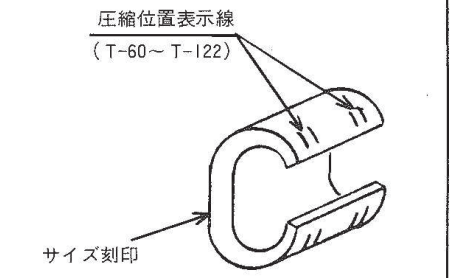
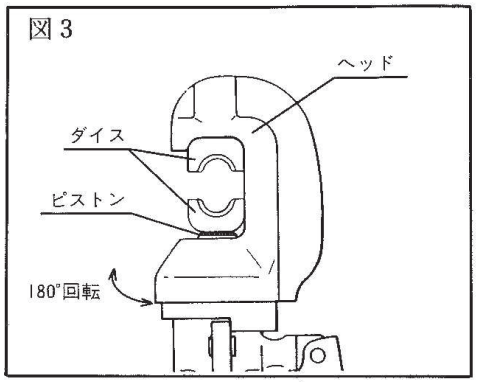


図3



5．T形コネクタと電線及びダイスの組合わせ

表1．T形コネクタとダイスの組合わせ

ダ イ ス	T形コネクタ	適用電線範囲(断面積の合計)㎟	圧縮回数
T－ 20	T－ 20	14 ～ 20	1
T－ 26	T－ 26	21 ～ 26	1
T－ 44	T－ 44	27 ～ 44	1
T－ 60	T－ 60	45 ～ 60	2
T－ 76	T－ 76	61 ～ 76	2
T－ 98	T－ 98	77 ～ 98	2
T－122	T－122	99 ～ 122	2

表2．T形コネクタと電線の組合わせ

本線㎟ ＼ 分岐線㎟	2 (φ1.6)	3.5 (φ2.0)	5.5 (φ2.6)	8	14	22	38	60
8				T-20				
14	T-20			T-26				
22	T-26		T-44					
38				T-60			T-76	
60	T-76					T-98		T-122
100	T-122							

注1) 太枠内の数値 T-□は、適用ダイス及び適用コネクタの記号を示す。

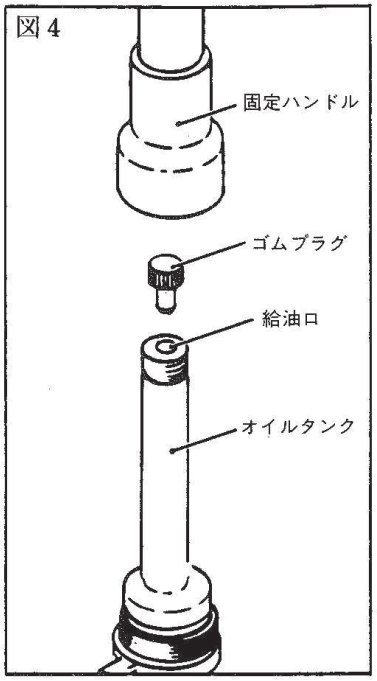
6．保守・点検

日常の保守・点検を怠りますと、工具の故障の原因になります。次の事項に十分注意して下さい。

(1) 工具の円滑な作動及びサビの発生を防ぐためできるだけ湿気をさけて保管し使用後は油布でふいて下さい。

(2) 作動油は24ヶ月を目安として全量交換して下さい。交換の際ゴミ、エアー等混入しないよう注意して下さい。作動油は必ずシェルテラス S2 V15（T15）を使用して下さい。（油量約85㎤）

図4



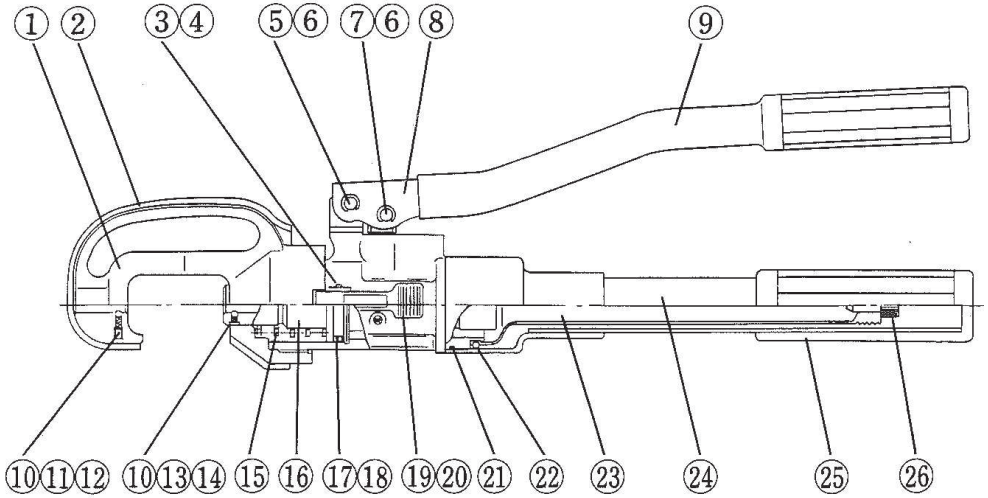
作動油の交換方法

①ピストンを下死点まで下げます。
②固定ハンドルを左に回し取り外します。
③オイルタンクのゴムプラグを左右にまわしながら引き抜きます。
④給油口を下にして古い作動油を捨てます。
⑤給油口を上にして新しい作動油を入れます。
⑥いったんゴムプラグを取り付け、ヘッド部を下にした状態で戻しレバーを押しながらハンドル操作を数回行いエアーを抜いた後、再び給油します。
⑦ゴムプラグを差し込み、分解したときと逆の順序で組立てて下さい。

(3) エアーの混入はほとんどありませんが、万一混入した場合は、(ピストンが上下運動して圧力が不安定な状態になります) (2)−⑥の方法でエアー抜きをして下さい。

7．パーツリスト

サービスパーツは、下表の番号と品名でご用命下さい。



15号B 8901

番号	品名	個数	番号	品名	個数
1	ヘッド	1	14	押え板	2
2	ヘッドカバー	1	15	ばね (403)	1
3	軸 (129)	1	16	ピストン	1
4	止め輪 CE-3	2	17	Oリング P32	1
5	軸 (158)	1	18	バックアップリング T2 P32	1
6	止め輪 CE-7	4	19	戻しレバー	1
7	軸 (157)	1	20	ばね (371)	1
8	加圧ハンドル	1	21	Oリング 1種A S40	1
9	加圧ハンドルカバー	1	22	Oリング 1種A P28	1
10	鋼球 1/8	3	23	オイルタンク (19)	1
11	ばね (51)	1	24	固定ハンドル	1
12	六角穴付き止めねじ M4×6(平先)	1	25	固定ハンドルグリップ	1
13	ばね (140)	2	26	ゴムプラグ	1

保証書

この商品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合は、本保証書記載の保証規定により無料修理いたします。

※修理はお買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。

※本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

型　名		15号B		
お買上げ年月日		年　月　日	保証期間	12 ヶ月間
★お客さま	ご住所			
	会社名			
	お名前			
★販売店	住所			
	店名	TEL		

参照用

★印の欄は必ずご記入下さい。

マクセルイズミ株式会社

長野県松本市大字笹賀3039番地
本　　社 TEL 0263－58－5757
東京営業所 TEL 03－6891－2111
大阪営業所 TEL 06－7663－0667
名古屋営業所 TEL 052－775－5388
福岡営業所 TEL 092－483－5700
仙台営業所 TEL 022－287－1761

保証規定

1．保証期間内に正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。

2．つぎのような場合には保証期間内でも有料修理となります。
(a) 使用上の誤りあるいは不当な改造および修理による故障または損傷。
(b) お買上げ後の落下および輸送上の故障または、損傷。
(c) 過負荷および誤圧などによる故障または損傷。
(d) 消耗品の損傷。
(e) 火災・塩害・風水害・異常電圧・その他天災地変による故障、または損傷。
(f) 保証書のご提示がない場合。
(g) 本保証書の所定事項の未記入あるいは字句を書き換えられた場合。

3．本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This Warranty is valid only Japan)

年　月　日	サービス内容	担当者
年　月　日		
年　月　日		
年　月　日		